

# すわみつえ通信

No.108 2020年1月27日(月)

## 日本共产党鴻巣市議会議員

# 諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

## すわみつえ



ホームページで、すわみつえ  
の政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に



片田教授は避難の三原則はいかなる災害時にも応用がきく。=1月20日、埼玉会館・ラウンジ

## 災害犠牲者ゼロへ 自治体は何をすべきか

## 公開研修会に参加

1月20日(月)に日本共産党埼玉県議団が開催した「災害犠牲者ゼロへー自治体は何をすべきか」と題した公開研修会に参加しました。東京大学大学院の片田敏孝特任教授が講演しました。

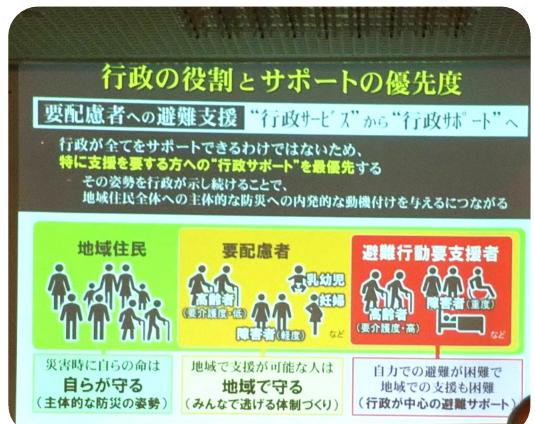
## 「釜石の奇跡」から学ぶ」と

片田敏孝氏は群馬大助教授を務めていた2004年から、岩手県釜石市で防災教育に携わり、「避難3原則」を教えてきました。第一は、「想定にとらわれない」と。第一は、そのときの状況下で「最善を尽くす」ことです。第二は、勇気を出して白ら率先して避難する」とが重要と説明して下さいました。

東日本大震災では、遠渡で甚大な被害が出る一方で、釜石の中小学校の児童・生徒はほとんど全員が無事に避難した。しかし『釜石の奇跡』と呼ばれていました。堤防などのハードで守られるのは、わずかであります。「命を守る行動は何か」を考える必要があると述べました。災害時に避難行動を支援者に対しても、自治体が責任を持つことの重要性を説きました。

講演を予定しても参加者なし。も決まった顔ぶれであつたり、「誰もしない」といふじゃ無い」と参加者がたつたひとりの公民館で講演したことや、参加者から「先生はどうの産まれか」と問われ「岐阜」と答へると「岐阜じや海はないな。海のことはわたしが良く知つてこぬ」と本腰こけてからえなかつたヒューリックを交えながら、「防災」を広めてこく困難とも述べられました。

昨年の台風19号で加須市では、  
日末明に避難指示が出され、群馬県・栃  
木県・茨城県への広域避難を含め、避難  
した人はおよそ5,500人です。  
市が大型バス10台を配備し、自家用  
車での避難もあり、一時渋滞が発生した  
ことや、避難勧告をせずに避難指示を  
したことなど課題もありますが、全国  
で初めて広域避難が実施されたこと。  
その後、全世帯への防災ラジオ貸与が予  
算化され、実施されたことなど多くの  
教訓となるのではないでしょうか。



住民と行政が一体となり  
災害に立ち向かう社会へ

瀧巣市では昨年12月、市議会として防災に関する176項目の要望を市に提案しました。気候変動による自然災害からのちを守るために対策が急務です。

日本共産党  
新春のつどい  
2月2日（日）  
14:00～16:30  
クレアこうのす  
大会議室（3階）  
会費：800円

台風19号で加須市は  
全国初の「広域避難」

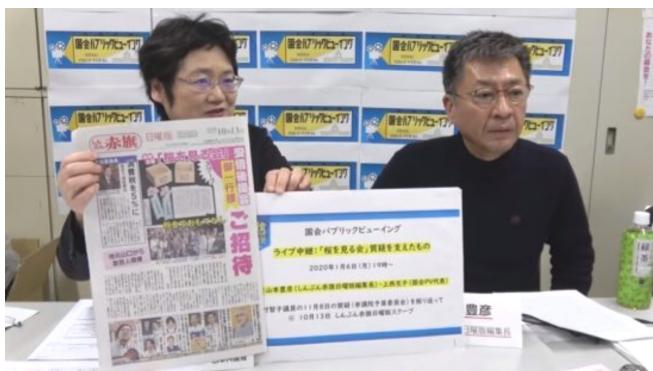
毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



フォロー

国会パブリックビューイング(国会PV:上西充子代表・法政大学教授)は、現実の国会の審議の様子を街角で上映する取り組みです。「国民の代表機関」の実態を多くの人たちに向けて可視化し、透明性を高めるとともに、虚偽答弁やごまかし、論点ずらしや言い逃れ等の不誠実で民主的議論の精神にもとる行いへの抑止効果を発揮していくことを目指しています。



国会パブリックビューイング代表の上西充子氏（左）としんぶん赤旗日曜版編集長の山本豊彦氏（右）=1月6日

## 中東派兵に「反対」58% IR整備「見直せ」70%

### 共同通信世論調査

しんぶん赤旗 1月14日付

「東京」13日付などに掲載された共同通信世論調査(11、12両日実施)によると、海上自衛隊の中東派兵について「反対」が58.4%で「賛成」の34.4%を大きく上回りました。

カジノを中心とする統合型リゾート施設(IR)をめぐり現職国會議員が逮捕されたのを受け、IR整備をこのまま進めてよいかとの問い合わせには、「見直すべきだ」が70.6%に上り、「このまま進めてよい」は21.2%にとどまりました。

「桜を見る会」疑惑について安倍晋三首相は十分に説明していると思うかとの問い合わせには、「思わない」が86.4%と圧倒的で、「思う」は8.1%にすぎませんでした。

○…いよいよ通常国会が始まりました。中東への自衛隊派遣問題をはじめ、カジノ汚職など課題や疑惑が山積みです。とりわけ、「桜を見る会」に安倍首相が地元の後援会関係者を多数招いていたことについて、国会で真相を明らかにする必要があります。

○…「桜」疑惑をめぐつては、6日にインターネット上で配信された「国会パブリックビューイング」(国会PV)の上西充子代表と、山本豊彦編集長の対談が表と、同疑惑をスクープした「しんぶん赤旗」の取材や問題意識なども詳しく語っています。

○…安倍首相は20日の施政方針演説で、「桜」疑惑など政権に都合の悪いことは一言もふれませんでした。国民が忘れてくれることを待っています。国会PVは、「桜」疑惑をめぐる緊急街頭上映の様子をDVDにして配布。いま各地で上映されています。国会での徹底追及とあわせて、「疑惑の真相を明らかに」の声を路上から広げていたい。

○…対談の振り返りを、ウェブメディアの「ハーバン」に上西さんが連載中です。記事のなかでは、「党として独自の報道機関を持ち、調査や取材ができる記者を多数抱えていることは、日本共産党的活動を大きく支えている」と述べています。

しんぶん赤旗  
1月22日付

## 疑惑 国会で明らかに

### 日本共産党・田村智子議員「桜」質疑はどう組み立てられたか?——しんぶん赤旗日曜版・山本豊彦編集長との対談(国会PV)

「桜を見る会」をめぐる追及の発端となった日本共産党・田村智子議員の昨年11月8日の質疑は、昨年10月13日の「しんぶん赤旗」日曜版のスクープの情報をもとにしている。

「桜を見る会」が後援会行事とセットで後援会関係者を幅広く招待していたことを報じたそのスクープは、どのように準備されたのか。それを伺うのが対談の目的でした。

スマホで観てください ⇒ 国会パブリックビューイング



しんぶん赤旗 日曜版 1月26日号

カジノ実施法廃止法案を岡田憲治衆院事務総長（右から4人目）に提出する野党各党の国対委員長=20日、国会内

通常国会冒頭の20日、日本共産党と、立憲民主党、国民民主党などの共同派は、カジノ廃止法案を衆院に共同提出しました。同法案は、カジノを中核とする特定複合施設区域（IR）を推進し、整備をすすめるための2法を廃止するもの。提出には日本共産党の穀田恵二国対委員長が同席しました。提出後の記者会見で立民の安住淳国対委員長は、カジノ誘致反対の運動と連携し「政府にカジノの実施導入を断念させたい」と表明しました。

カジノ廃止法案を提出する野党各党の国対委員長=20日、国会内